

地域にはばたく市民パワー！

**ところざわ倶楽部 「広場」**

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2014 年 12 月号 (第 78 号)

発行責任者 嵐田 良彦



総会会場風景 新体制布陣 長岡慶一／撮影

**ところざわ倶楽部第8期活動方針****－ 満足度の高い事業と情報発信の強化を図る－**

会長 嵐田 良彦

第 8 期の新任会長としてところざわ倶楽部の運営、あり方について私の考えを述べさせていただきます。

基本的に、これまでところざわ倶楽部が取り組んできた第 7 期までの運営、薄井前会長が進めてこられた事業を継承していきます。ただ、倶楽部への要求は間違いなく変わってきております。よい点は継承し、変更すべき点は速やかに変えていく、という考えで臨んでいきたい。このような視点から私として、重点的に取り組む課題として 3 点あげたい。

まず 1 点として、ところざわ倶楽部会員の「満足度」向上です。満足度向上とは、ところざわ倶楽部で「生涯学習」を進めていく上で全て答えてくれる充実した運営を考えていきます。文化祭をはじめ倶楽部主催の行事がどのように活用され、評価されているのか。新たな事業に何があるのか、ニーズに応え満足度の高い事業を構築していきたい。

2 点目は、「情報発信の強化」を図ることです。これには 2 つの側面があります。一つは、広場、ホームページ (HP) の編集態勢強化により「会員による会員のための」コンセプトでの情報発信です。倶楽部の動き、サークルの活動、会員の情報発信など、的確に

迅速に伝えていく。そのために広場、HP の役割を明確化してすべての会員が活用できる方向性を出していきたい。もう一つは、外に向けての情報発信です。素晴らしいサークル活動を「うちがわ」に留めておくことはありません。倶楽部並びにサークルのモチベーションを高めるためにもそれぞれの活動を外部メディアに情報を提供して、取り上げてもらえる広報活動を展開していく。同様に行政にも働きかけ倶楽部の認知度を上げていく。

3 点目は、「生涯学習としてのところざわ倶楽部」を今一度見直していく。ところざわ倶楽部はスタートしてから 8 年目。倶楽部のメンバーも高齢化が進んできています。いつまでも倶楽部のメンバーとして活躍をしていただくために何ができるか、新たな対策、メニューが必要になってきている。この対策案を提案したい。

いずれにしても、ところざわ倶楽部は「会員による会員のための倶楽部」です。この考えで、これからの倶楽部運営を推進していきたい。これには会員の方々のご協力なく進められることはありません。重ねて皆様のご協力、ご鞭撻をお願いいたします。

## 第8期定期総会報告

総務部長 稲村 洋二

11月19日、121名の会員の参加を得て第8期ところざわ倶楽部総会が開催された。総会の議事進行は滞りなく進み、提議された会則の一部改正についても議場からの質問、意見もなく承認された。8期の運営方針、活動計画の説明が終わった後の質疑で何点か質問があった。①事業計画に倶楽部全体の懇親事業が計画されていない。②議長は会長ではなく他の人がやるべきではないか。③パソコン講習会でデジカメの講習をやってほしい。④ところざわ倶楽部での活動を楽しみにして期待を持って入会したにも関わらず、役員・理事の紹介はあるが新入会員の紹介がない。

最後の発言者の方は21期の2年次で「福祉」についてグループ学習をやり、そのグループメンバーがところざわ倶楽部でサークルを立ち上げた方達であった。グループで総会に参加、それぞれの方に自己紹介を兼ね発言してもらった。役員・理事会のメンバーが失念していたことでもあり、それぞれ貴重な意見をもらい8期の運営に反映して行かなければならないと感じた。

設立以来8年を迎え会員のところざわ倶楽部に期待するところは様々であり、ところざわ倶楽部の設立時の理念の再確認と会員の皆様が会員であることへの満足度の向上が運営上の鍵であるように思った総会であった。

### 第8期の新体制の顔ぶれ

～皆様の熱いご支援よろしくお願ひ致します！

役職	氏名	出身母体	役職	氏名	出身母体
会長	寫田 良彦	理事会推薦	事業部担当理事	本橋 清子	みんなで学ぼう認知症
副会長兼総務部長	稲村 洋二	理事会推薦	同上	矢崎みどり	理事会推薦
副会長兼事業部長	二上 拓夫	懐かしの映画・鑑賞会	同上	小原 修一	歴史を楽しむ野老会
副会長兼広報部長	仲山 富夫	民話の会	広報部担当理事	島川 謙二	野老澤の歴史をたのしむ会
総務担当理事会計	田中 建夫	公園を楽しむ会	同上	長岡 慶一	地球環境に学ぶ
総務担当理事会計	曾部 康子	葵の会	同上	鴨田 孝司	理事会推薦
総務部担当理事	村井 弥亮	理事会推薦	同上	広沢 正巳	地域の自然を考える会
同上	小野 律太	地域の自然	同上	佐藤 滋	ドラマティックカンパニー
同上	石堂 智士	傍聴席	同上	当麻 実	歴史散策クラブ
同上	森野 辰夫	北欧の会	同上	田口 元也	所沢シニア世代地域
事業部担当理事	杉浦 正紀	アジア研究会	同上	新井 智子	理事会推薦
同上	田村健一郎	楽悠クラブ	会計監査	加茂 恵三	理事会推薦
同上	渡部 昇	所沢の自然と農業	会計監査	小野ちづる	理事会推薦
同上	岡部まさ子	食を通して所沢を知る会	※文字数の関係でサークル名短縮させていただきました。		

### 11月度理事会報告 (11月10日〈月〉開催)

前総務部長 森下 尚洋

冒頭「地域の祭り研究会」の井上理事より、サークルを休会する旨の説明あり。

#### 1 会長挨拶

第7期総会のあいさつの要旨、第7期事業総括の説明あり。

#### 2 総務部案件

- (1) 第8期理事候補者の提案、承認
- (2) 第7期決算、第8期予算案の説明、承認
- (3) 総会に向けて

- ・11月9日現在、総会案内の返信 継続216  
退会20 不明39
- ・サークル発表 持ち時間15分 ①民話の会  
②所沢の農業 ③アジア研究会の順で発表

- ・役割分担 進行表確認、了承

- ・資料印刷14日10時 センター 協力要請

- ・新会長候補寫田理事より第8期基本方針の説明あり、承認。

#### 3 事業部案件

- (1) 倶楽部懇親会総括
- (2) 第8期事業計画 一部変更し承認

#### 4 広報部案件

- (1) 「広場」11月号内容紹介
- (2) 「広場」12月号企画紹介
- (3) 第7期活動報告、第8期事業計画説明、承認

## 事業部活動方針

事業部長 二上 拓夫

### 1. 活動方針

各サークルの“集いの機会と場の提供”とする。それには各サークルの意向をできるだけ吸い上げて、ところざわ倶楽部として各サークル活動に対応できるように努力していきたい。

会員のみなさんの関心のある身近でタイムリーな話題を題材に事業計画を考えていく。

### 2. 活動計画

- 1) 事業については、各サークル、会員からの案も受入れ事業部にて検討し理事会の承認を得て実施する。
- 2) 講演会だけでなく、サークルの研究発表会、倶楽部会員による自前講座なども検討する。
- 3) 数回にまたがる講座（例：H26年「人間・正岡子規」の様な企画）を検討し実施する。

### 3. 事業部の運営

各サークルを訪問し、交流を図る。

### ◆ 平成27年度 事業計画

月	内容
1月	サークル紹介・公開講演会
3月	公開講演会
5月	第4回文化祭
7月	文芸講座
9月	公開講演会
11月	懇親会
不定期	サークルの提案事項により開催

◆講演については講師の都合により、実施日及び講演内容を変更することがある。

◆市民大学講師及び以前に講演をして頂いた講師との繋がりを常に持つようにしていく。

## 広報部活動方針

広報部長 仲山 富夫

### 1. 編集・制作方針

ところざわ倶楽部の理念である、①学習活動の継続 ②会員相互の親睦 ③学びを地域に生かす ④ネットワークづくり を念頭に置き、倶楽部の事業、サークルの活動内容に編集・制作の重点を置きます。また、4年目を迎える「HP」制作の組織を再編し強化を図ります。

### 2. 編集体制の強化

- 1) 各サークルに広報委員を置き、広報部との連携を深めていきます。具体的には、年2回以上、広報担当者会議を開催し、広場・HPの企画、編集内容のあり方についての議論を行ない、広報活動の充実を図ります。
- 2) 広報部の中に、HP企画担当を置き情報収集と編集内容の強化を図ります。
- 3) 楽しい紙面づくりを目指します(ビジュアル化)。

### 3. 取材体制の強化

- 1) 各サークルからの活動報告の投稿依頼を求めていきます。
- 2) 広報部は情報収集の取材活動を強化します。
- 3) 27年度4月を目処に、「広場」「HP」の新企画を提案します。

会員の皆様の趣味、地域の役員活動、敬老活動、民生委員の活動、ボランティア活動や私のふるさと、ふるさとの料理、出会い（恩師、本、音楽、海外の方とのふれあい、愛しいペット）等々、様々なテーマを取り上げます。

4) 市民大学、さんさん会、OB会との情報交換を進め、活動紹介等を行ないます。

### 4. メディアへの情報の発信、認知度UPの活動

具体的には行政、所沢市記者クラブ、公民館等へ情報発信を行ないます。

★上記の指針で第8期の広報活動を推進していきたいと考えています。

課題を共有して、優先順位を議論しながら、出来ることから始めて参ります。会員の皆様が参加いただきますようお願い致します。

★原稿の校正に当たっては筆者の思いを尊重し、内容を変更する場合には編集担当から筆者に相談致します。また、内容に沿ったサブタイトルを提案します。

尚、政治的、思想的、誹謗中傷・差別的な文章は、広報部で議論し、掲載の可否を判断します。

## サークル活動報告

## 音楽を通して親睦と交流を図る

《楽悠クラブ》 高瀬 浩衣

- ・月例会・・・楽悠クラブの例会は中央公民館で月 1 回 オペラ、ミュージカル等の D.V.D の鑑賞を中心に活動し、また映画などを楽しんでいます。11 月例会はヴェルディの“リゴレット”の鑑賞でした。三大テノール歌手として有名なパヴァロッティが歌う“女心の歌”に思わず引き込まれ 2 時間余りを楽しみました。
- ・都民芸術フェスティバル (2 月) N 響、読売日響、日フィル等のオーケストラで著名な音楽家の演奏がプログラムされて東京芸術劇場で鑑賞。
- ・オーケストラの日 (3 月) 首都圏のオーケストラが文京シビックホールに一堂に会し様々なイベントがあり、気軽にクラシック音楽を楽しむ特別な日です。
- ・ピアノコンサート (4 月) 楽悠クラブでのファンが多い“スペインの心を持つピアニスト”と呼ばれる下山静香さんのピアノコンサートを鑑賞。
- ・文化祭 (5 月) ところざわ倶楽部文化祭では楽悠クラブ混声合唱団として今年は 2 回目の参加。10 回余りの猛練習で最初の心配は吹き飛び、本番は

最高の出来上がりに大満足 (自画自賛?) 来年も参加しましょうと打ち上げでは大盛り上がりでした。乞うご期待!

- ・懇親会・・・1 月に新年会を、8 月には暑気払いに下山さんも参加され、スペインの興味深いお話で盛り上がり、皆さんで親睦を深めました。
- ・来年度も楽しい企画案が出されて、様々なジャンルの音楽を知り交流の輪を広げ、楽しみたいものです。楽悠クラブでは参加自由ですので、興味のある方は一度覗いてみてください。



下山静香さんを交えての暑気払い (8 月)

## サークル活動報告

## 一年の歩みを振り返って

《ドラマティック・カンパニー》 小坂 英子

私達のサークルでは、シェイクスピアの作品を読み解き理解を深めるという活動を続け、11 月で終了した「ヘンリー 6 世」で 10 作品を学んだこととなります。

その学びのなかでシェイクスピアはギリシャ劇 (神話・悲劇) からの引用や比喩が多用されていて、ギリシャ劇を勉強することでシェイクスピアをより

解つてくると、最後にはギリシャ劇って面白く、もっと読んでみたいと思うようになりました。

5 月の文化祭で「トロイアの女たち」の最後のクライマックス場面を朗読しました。当日仕事や他のサークルの出演がある人などで舞台での出演は 7 名でしたが、台本作り・朗読の練習、前説の原稿作り・照明・立ち位置・椅子の配置に至るまでサークル全員で取り組み、なんとか成功させることができました。お忙しい中、笠松先生も駆けつけて下さり有難くともうれしい事でした。

昨年 12 月から長編歴史時代劇「ヘンリー 6 世」(3 部作) に取り組み、11 月まで一年をかけて修了。この超大作を学びきった達成感と、学びの中で笠松先生の芸能・芸術・もちろん音楽他どの分野にも造詣の深い講義 (時々シェイクスピアから離れていくこともありますが、それも楽しい) がとても魅力的で、先生に感謝の気持ちで一杯です。

12 月からは「タイタス・アンドロニカス」を取り上げます。この 1 冊の本の中からどのような演劇を鑑賞することができるのか楽しみなのです。



文化祭での発表風景

深く理解できるという笠松先生の提案で昨年 9 月から 3 カ月をかけて「トロイアの女たち」を学びました。

私にはシェイクスピアはとても敷居の高い勉強で、ましてギリシャ劇を勉強するなんて大変、「わからない、難しい」を連発して先生を困らせましたが、先生の丁寧なご指導のお陰で神々の性格や関係などが

## こんな事あんな事⑬

## 恩師のやさしい言葉

《懐かしの映画・鑑賞会》 新井 智子



久しぶりに同窓会があり、今回は幹事でした。お呼びする二人の恩師に電話で招待のむねを告げる際、三年間担任だったA先生に「初めての幹事会で懐かしい友達に会った時、なぜかほっといたしました」と話しました。すると「樺ちゃん（私のニックネームでした）今までずいぶん苦労してきたんでしょ？よく頑張った」と仰しゃったのです。その言葉だけで十分でした。どこに溜まっていたんでしょうか？ホロホロと涙があふれてきて、次の言葉が出ず困りました。

長いこと会っていない先生ですが、7つしか年が離れていないせいか、高校生の時からまるで実の姉のように何でも話せる間柄でした。私は今までは、自分の周りの方が辛い体験をした時は、その方が自然に癒され自分で立ち上がれるまで、そばでじっと黙って見守るのが一番と考え、そうしてきたのです。

私は学校で相談員をしていた折、同じように上から教えられ、児童・生徒への対応は（自分で気づかせる）だったのです。効果はあったこともあり反対のこともありましたが、今となっては、もっと他の良い方法もあったのではないかと後悔することばかりです。

しかし今回の「よく頑張った」には感動しました。心の中の鉛のような塊がサラサラと流れ落ちて行くのがわかりました。

私は、人間はいつも「迷い人」なのだと思います。ふと気がつくと道に迷って一人ぼっちで泣いている自分がある。誰でもいい、己を丸ごと受け入れてくれる存在を無意識で探している。その人に「お前、本当によく頑張ったね。えらかったよ」と、頭を「イイコイイコ」と撫でてもらいたい。

こんなに長い事生きてきましたが「青い鳥」探しの真の意味は、他でもなく温かい手で優しく誉めてもらいたかっただけ。だって人間はとてつもなく広い宇宙の中で、限りなく小さな存在だから・・・

## 一寸庵閑話 『ところざわ倶楽部とは？』と問いつづけること

▼サークル『葵の会』の有志と『午年総開帳秩父札所めぐり』を3月28日から始め、7回目の11月17日に無事結願しました。雪が残っていた秩父路、椎茸を売っておねえさまと交渉してまけてもらったこと（全部買うから4割引にすると大声出して成功（#. #））、



武甲山（秩父札所めぐり）

1カ月遅れの満開の桜、住職からいただいた昼食のお茶のおもてなし、何回も見とれた秩父の山並みの美しさ、レッドアロー車内で飲んだ缶ビール、秩父の駅で杖を置いて食べた新そばの美味しさ・・・。

日本の自然の美しさ、日本人の親切、一緒に歩いたみんなに「おかげさまで」と改めてお礼を云います。

(-;-)

▼秩父を歩きながら何度も口ずさんでいた『花の街』

♪♪ 七色の谷を越えて 流れて行く風のリボン  
輪になって輪になって かけて行ったよ 春よ春よと かけて行ったよ

江間章子・作詞 團伊玖磨・作曲の『花の街』は、戦後まもない昭和22年荒廃と混乱の中で、いつか日本中の街が、きれいな花でうめつくされる日が来ることを願って作られました。私は女声合唱の『花の街』が好きです。

▼映画俳優・高倉健さんが亡くなりました。心やさしい人間味のある誠実な昭和の男でした。好きな言葉は『往く道は精進にして忍びて終り悔いなし』だったそうです。同じ日に解散を云う安倍首相の機を見るに敏で誠実さのない顔がテレビに映っていました。解散に700億円かかるそうです。昔の政治家は、もっと知性やユーモアがあったように思いますが・・・。昨年亡くなったなだいなださんは『強い国より賢い国になれ』と云われてました・・・。

▼総会で新入会員たちの発言がありました。これもところざわ倶楽部が変わる予兆かも知れません。瀬戸内海の鯛獲りの名人が『怒らずに、焦らずに』が鯛獲りのコツだわな』と云ってましたねえ。「ところざわ倶楽部とは何か？」と繰り返し問い続けること・・・焦らずに。

(ケン・シェイクスピア)

【市民大学は今】

## 22 期生の市民大学生生活も佳境に！

第 22 期企画委員 田口 元也

10 月、21 期生は「グループワーク発表会」と「閉講式」が行われ、1 年半の市民大学生生活を修了しました。2 日間にわたる「グループワーク発表会」は、半年間の研究の成果を存分に発揮され、パワーポイントを使った発表は充実した内容となっていました。22 期生も次年度の発表をひかえ熱心に聞き入っていました。

「市民大学通信」は 21 期・22 期の合同編集も 11 月号の発行をもって終了し、これからは来年 5 月号まで 22 期の単独編集となります。新企画として各グループで「私の好きな所沢」をモチーフにした表紙構成を提案してもらいました。「レオライナー」「狭山湖から見た富士山」「多聞院笠地藏」「クロスケの家」などの写真が上がってきており、来年 11 月号までのラインナップがそろいました。また、新年号には「新春・市民大学通信 俳句会」を特集、はじめは「えっ俳句？」と戸惑いもあったようですが、いざフタを開けたら自然感・生活感あふれる秀作が寄せられ、1 頁の予定が見開き 2 頁の構成となりそうです。「エッセイ」も「ボランティア」、「健康法」「グルメ」などについての依頼に多数の原稿が寄せられ、「めざす受講生による紙面づくり」に近づきつつあります。

通年の講義以外に、「課外授業」と「移動学習」があります。課外授業については、これまで「メガソーラー所沢」及び「東部クリーンセンター」を見学する一方、「ストレッチ・とこしゃん体操」を実施。

そして 10 月 21 日には、移動学習として茨城県にある「JAXA 筑波宇宙センター」を見学しました。



日本の宇宙開発の中核センターとして、宇宙の最先端分野の研究・開発を行っておりますが、ISS 国際宇宙ステーションの日本実験棟での実物大の「きぼう」「はやぶさ」「かぐや」「ひまわり」や歴代ロケットの展示には圧倒されました。同日に計画していたもう一つの移動学習コース「三富新田開拓地割遺跡」は、残念ながら雨天のため中止となりました。

これからも課外授業は、「狭山丘陵を歩く」「滝の城址見学」などが予定されております。

(写真は H-2 ロケットの前で集合写真)

## 市民大学は「自分とは異質な他者との出会いの場」

第 23 期企画委員長 佐藤 重松

少子高齢化社会の到来が語られ、その渦中にあるシルバー世代の、今後の在り方について、社会的・行政的観点、そして何よりも高齢者自身として、“如何に生きるべきか”が問われているように思います。

高齢化率の高まりの中で、行政が主課題としている対高齢者施策は、“健康寿命”の延伸！社会保障費の抑制が背景にあるにせよ、高齢者自身にとっても、最重要課題で日々の健康、その健康寿命の年々歳々の更新を願わない人はいません。

その為の日常生活に於いて自助としての具現化が求められます。適度な運動であったり、脳を活性化する為の工夫であったり、出来るだけ人との交わりであったり、それらを“笑顔で楽しむ”自己実現への道を！ 市民大学はまさに＜民と官＞の二人三脚によって、両者が合致する施策。

同じフィールドで共に学び交流しながら“自分と

は異質な他者と出会う事によって自分自身に気づいていく事”ではないか、と思います。自分自身の再発見プログラム。

そして、“既知の部分の土台にして、未知の部分の拓いていく”好奇心・探究心へのプログラム。高齢期に於いても、人生まだまだこれから、と云う気概が大切なように思います。(市民大学は高齢者だけが対象ではありませんが)この2つを気軽に求める心と、1歩踏み出す勇気が、更に楽しい老後人生への扉を開いてくれるのではないのでしょうか。

その意味では、市民大学を受講している、或いは修了されたところざわ倶楽部>の皆様は、見事にそれらを実践され、これから続く者たちへの“メッセージ”として、先駆的役割を果たされていると思います。そして同世代として“すこやかなる老い”と“老いがい”を求め続けましょう。

# サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？  
積極的に下記各サークル責任者にご連絡ください。

ドラマティック・カンパニー（伊藤孝子 090-3402-2962）  
12月6日（土）、20日（土）、1月10日（土）、24日（土）いずれも10:00～12:00 12月20日例会後、忘年会『ヘンリー六世』の後は『タイタス・アンドロニカス』を読み進めます。会場：新所沢東公民館  
\*シェイクスピアを楽しく深く学べます。見学大歓迎。

**アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560)**  
12月18日(木) 定例会(総会)及び忘年会  
14:00～16:30 17:00～(忘年会)  
忘年会の場所は後日連絡  
1月21日(水) 定例会 中央公民館

**野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695)**  
12月18日(木) 福祉バスにて「秩父事件の足跡を巡る」集合 小手指駅南口 7時50分  
見学地、秩父事件追念碑、石間交流学習館、龍勢会館椋神社、音楽寺等

**傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)**  
12月15日(月) 定例会、14時～新所沢東公民館・10月実施の市議アンケートについて話し合います。  
どのような議会活動を行っているか、市政をどのように見ているか、行政の課題と議員の認識など。

**葵の会(池田新八郎 2940-0711)**  
12月18日(木) 13:00～16:30 中央公民館 7号  
13:00～15:00 「井原西鶴傑作選」第5回  
テーマ:「塩売りの楽すけ」(西鶴胸算用)  
15:00～16:30 「紅葉狩り」能ビデオ鑑賞

**地域の自然を考える会(広沢正己 2939-9181)**  
12月14日(日) オオムラサキ幼虫調査 9:30～13:00  
12月16日(火) トトロ12号地管理作業 10:00～12:00  
12月21日(日) 糶谷八幡湿地下草刈り 8:30～  
1月17日(日) 早稲田湿地 ヨシ刈り 9:30～13:00

**公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)**  
12月18日(木) 定例総会 ところ壮  
10:00～12:30  
1月22日(木) 江戸の名庭園を訪ねる  
「小石川後楽園と小石川者植物園」

**地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)**  
12月16日(火)定例会 15:00～17:00 新所沢東公民館  
各自研究課題の発表他。その後忘年会。  
※定例会の時間が変更になっています。  
1月20日(火) 定例会 9:00～11:00 予定

**歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400)**  
12月12日(木)本郷・東京大学(文京区)周辺を巡る  
1月23日(金) 深川七福神と深川巡り  
2月20日(金) 荻野吟子記念館と聖天山をバスでめぐる

**楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)**  
12月9日(火) ①総会 ②ドキュメンタリー映画「カラス・アッソルータ(究極のマリア・カラス)」DVD鑑賞  
1月19日(月) 喜歌劇「こうもり」DVD鑑賞  
いずれも、(場)中央公民館#8・9 (時)13:15～16:30

**懐かしの映画・鑑賞会二上拓夫 080-1250-6151)**  
12月19日(金) 10:00～12:30 西新井町公民館  
邦画「電撃隊出動」(44年)東宝・海軍省製作 戦時下昭和19年の海軍プロパガンダ的映画⇒当日は年度の活動まとめ会と年末小宴会を計画 2015年1月20日(火曜)「男はつらいよ-相合い傘-」

**歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)**  
12月13日(土) 総会&忘年会  
場所:新所沢東公民館 15:00  
平成27年度の活動計画は検討中、別途お知らせします。

**民話の会(仲山富夫 090-3902-0283)**  
12月19日(金) 定例会(年度総括27年度上期活動計画策定)中央公民館 11時～12時30分  
13時～昼食忘年会(徳寿庵)  
1月16日(金) 新年定例会

**北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)**  
第54回例会 1月24日(土) 13時20分～  
今年度活動計画 ほか 新所沢東公民館  
第55回例会 2月21日(土) 2月28日(土)13時30分～  
聖心女子学院生涯学習センター公開講座に参加

**食を通して所沢を知る会(岡部まさ子 2928-1868)**  
1月6日(火)10:00～ 定例会 場所:ふらっと  
2月3日(火) 秩父食探索 福祉バス  
\*参加大歓迎

**地域の自然(加藤司則 2998-3922)**  
12月13日(土) 9:00～12:30 緑の森博物館  
倒木枝の片付け、落葉掃き  
12月14日(日) 9:00～12:30 早大B地区  
倒木枝の片付け、堆積場整理、落葉掃き準備

**みんなで学ぼう認知症(本多義博 090-3144-1438)**  
1月26日(月) 新年会(ところ荘にて) 13:00～  
2月23日(月) 歯科衛生士による講義:認知症を防ぐ歯の手入れ方法 生涯学習推進センター 13:30～

**所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835)**  
12月14日(日) 陽子ファーム落ち葉掃き準備  
12月21日(日) くぬぎ山の手入れ  
1月10日(土) 陽子ファーム落ち葉掃き  
1月15日(木) 伊東農園落ち葉掃き準備+オイモカフェ

**所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)**  
12月9日(火) 10:00～12:00 (定例会)  
議題 年間活動計画について(イベント内容・出前講座・情報活動など)  
所沢市生涯学習推進センター1F・102号室  
☆本会・イベント等に関心のある方のご参加をお待ちしております。



### 【私の健康法】 “ストレスとお酒”

柴田 勲

血液型にはA型、B型、O型、AB型があるのは周知のとおりであり、色々な性格の方々がおられます。・・ちなみに私はA型です。父親はA型 母親がO型のためか女の姉妹は2人共O型で、私と兄はA型です。O型の方は「おおらかで天真爛漫」な性格だと言われていますが、ことA型に関しては「几帳面で真面目」がとりの性格です。兄も、ごたぶんにもれずかなりのA型人間でした。私は、他人からはA型に見られた事がなく、おおらかな性格のO型に見られがちでした。真面目が良いのか分かりませんが、随所にその性格がでて、“現役時”には仕事と人間関係で苦勞したものでした。かかり付けのお医者さんからは『貴方は典型的なA型なのでストレスをためこんではダメ』だと良く言われ胃薬を常用していました。

<その解決方法を見つけました>

ノコミュニケーションです！職場の同僚と、また先輩と何か問題が出た時はお酒を飲みながら相談や打ち明け話をするのです。・・その事によってストレスをためる事なく翌日から元気に仕事が出来ました。ある時は2人でビールを20本も飲んだ事もありました。そんな酒飲みから、不本意ながら「酒豪の柴田」と呼ばれるようになってしまいました。今、思うと良くも無事に永年仕事をしてきたものだと感謝の気持ちで一杯です。定年後は、ストレスを感じても、それを跳ね返しストレスをためる事なく、悠々自適にのんびりとクヨクヨせず「友と」美味しいお酒を酌み交わし、ストレスと上手くお付き合いをして、薬からも解放された楽しい毎日を元気に過ごしています。



### 《編集後記》

朝日新聞の紙上コラム、『しつもん！ドラえもん あきのことば編』を転記▼英語で秋を意味する「フォール」。植物のある営みが言葉の由来とされるよ。何かな。答『**落葉**。英語のfallはもともと「落下」を意味し、秋には多くの木々の葉が落ちることから夏と冬の間の季節をフォールというようになったよ』▼「秋桜」とも呼ばれる、秋にピンク色や白などの花を咲かせる植物はなにか。答『**コスモス**。メキシコが原産で、明治時代に日本に入ってきた。花が桜の形と似ているので、「秋桜」ともいわれるようになった』▼漢字で、くさかんむりの下に「秋」と書く植物があるけれど、なんだろう。答『**萩**。秋の七草の一つ。日本最古の歌集「万葉集」で一番多く詠まれている植物。食べ物のおはぎもここからきているんだ』▼秋の日没がはやい様子をたとえて、「〇〇落とし」という。なにか。答『**つるべ**。つるべは井戸の水をくみ上げるときに使うおけ。おけが井戸の中をまっすぐにあ

鎌倉の五山はるかに鳥渡る  
敗荷や影の波立つ源氏池  
破蓮に風の聞かせる方丈記  
洪鐘（おおがね）の音色想ふや暮の秋  
甥の代となりし故郷星月夜  
秋霖や堂に際立つ三鱗  
秋時雨傘かしばあふ谷戸の路  
鎌倉に降りみ降らずみ石路の花  
三門のまろき柱や秋の風  
流鏑馬の道真つ直ぐに銀杏散る

鈴木すぐる  
鈴木 征子  
白神 恵子  
高梨 千代  
高橋 三加子  
高光 泉  
中嶋 弘子  
中村 直子  
橋本 佑子  
平栗 彰子

花塚のかたへに石路の花明り  
山門をくぐりて清き秋の雨  
山門をいでて老舗の走り蕎麦  
敗荷の風の揺らぎの源氏池  
鳥渡る堂宇獅子口高々と  
石路の花に明るき古都の雨  
そぞろ寒座禪布団の尻の形  
ひとところ大きく揺るる破れ蓮  
鎌倉の紅葉且つ散る五山かな

荒幡千鶴子  
飯泉 陽子  
井出 昇  
海老澤愛之助  
粕谷 のぼる  
河瀬 俊彦  
小林 貞夫  
小林 典子  
佐藤 八郎



むさし野俳句会（二十六年十一月）作品抄



つと間に落ちていく様子からきているよ』▼今11月下旬。秋も深まり冬の気配で西高東低の気圧配置になっている。そして12月。二十四節気の大雪（7日）、冬至（22日）が待っている。ところざわ倶楽部も8期目に入った▼前々会長の加曾利さんは広場の編集に関して、25年5月号「広場」に、こう書いておられる。『毎月第一金曜日に編集会議があるが、ここでいつも問題となるのが、記事を何処まで修正するのか、修正が出来るのかである。“誤字”、“脱字”、“て、に、を、は、の類”などを含めて、チェックするが、チェックした人の感性と経歴でかなり違ってくる。・（略）・。記事を正しく修正する作業は必要なことであるが、如何に、筆者の意図に沿ったものにするか、また、このコミュニケーションを如何に上手に取るかが大切である』という。そう思い、作業をしているのであるが・・・  
(記 鴨田孝司)